

R8 薫科中グループ校 小中一貫教育構想図

薫科中学校

中薫科小学校



視点1：目標の共有

薫科中G 学校教育目標

自立する子

やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら自分なりの思いを持って主体的に行動する

視点2：連続性・系統性

自主自律の力

○タイムマネジメント力の育成

自分がやりたいことをするために、やるべきことを見通しをもって行い、計画的に生活する力を育成します。

○自発的・自治的な活動の推進

子ども発信の企画や子ども主体の運営を通して、自分たちで自分たちの生活をよりよくする力を育成します。

学ぶ力

○わらしな学

～「ふるさと薫科」の強みと
願いを生かした特色ある学習～
地域の「ひと・こと・もの」に関わって探究的に学び、地域を愛する子、地域に貢献できる子を育成します。

○一人一人が主体的に学ぶ授業

学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりすることを通して、将来にわたって学び続けることができる力を育成します。

つながる力

○さわやかなあいさつ

学校でも家庭でも地域でも、時と場に応じたあいさつの実践を通して、コミュニケーション力を育成します。

○縦割り活動の充実

学年や校種を超えた交流を通して、多様な考えに触れながら、コミュニケーションの幅を広げ、相手や集団のことを考えた行動ができる力を育成します。

軸となる取組

視点3：協働・交流

児童生徒の交流活動

○小学校と中学校の交流

小中の交流活動、児童会生徒会活動の協力・協働、各校の行事への参加などを通して、小中のつながりを深め、自己肯定感や自己有用感を育成します。

- ・合同体力テスト
- ・合同あいさつ運動
- ・わらしな学習発表会
- ・お茶摘み体験
- ・薫科中一日体験入学（6年）
- ・薫科中「芝生祭」への協力（休止）

教職員の協働

○小学校の教職員と中学校の教職員の協働

・校内開校委員会（年間5回）
令和10年度の開校に向けて、学校教育目標とその実現のために、7つの部会で教育課程や教育計画書の作成に向けた協議を行います。

・小中合同授業研修会
お互いの授業参観や合同の研修会を通して、子ども理解を深めると共に、小中学校それぞれの良さを生かした教職員の授業力向上を目指します。

視点4：地域連携

地域に開かれた学校

地域活性化に向け、小中学生が協働しながら企画などに参加し、地域と連携し、地域を生かした教育活動を実施します。

- ・地域の方を講師に迎えた特別授業
- ・地域イベントでの協働
- ・学校応援団、健全育成会活動など

学校運営協議会（開校準備委員会）

コミュニティ・スクールを立ち上げ、小中学校の校長、教頭、職員、自治会代表、PTA等で学校運営協議会を組織し、子どもの実態および学校や子どもへの願い、教育活動への支援、地域と学校との協働について協議し、令和10年度の開校に向けて準備します。